

# 会 議 概 要

会議の名称	令和4年度 第2回湧別町スポーツ推進委員会議
開催日時	令和4年10月25日(火) 18時30分 開会 20時00分 閉会
開催場所	文化センターさざ波 多目的ホール
出席者名	委員：石川委員長、小橋副委員長、鈴木、峯田、海谷、 岸下、藤崎各委員 7名 教育委員会：坂本課長、藤本主幹 2名
欠席者名	黒田、白田、木村、岸、水牧 各委員
傍聴人の数	無し
会議の内容	1. 開 会 2. 委員長挨拶 3. 議 事 議案第1号 令和4年度スポーツ振興事業報告について 議案第2号 第3次社会教育中期計画策定に係るスポーツ活動・スポーツ施設の現状と課題について
会議資料	令和4年度第2回スポーツ推進委員会議議案
会議録	■ 有 ( <input type="checkbox"/> 全文筆記      ■要点筆記 ) <input type="checkbox"/> 無
備考	

# てん末書

記録者職氏名

社会教育課

主 幹 藤 本 祐 司

## 1 日 時

令和4年10月25日(火) 18時30分～20時00分

## 2 会 場

湧別町文化センターさざ波(多目的ホール)

## 3 会議及び用務

第2回湧別町スポーツ推進委員会議

## 4 出席者

委 員～石川委員長、小橋副委員長、鈴木、峯田、海谷、岸下、藤崎 7名  
教 委～坂本課長、藤本主幹 計9名

## 5 結果要旨

### 1 開 会

### 2 石川委員長挨拶

### 3 議 事

○議案第1号 令和4年度スポーツ振興事業報告について

・藤本主幹より上半期の実績について報告を行った。

○議案第2号 第3次社会教育中期計画策定に係るスポーツ活動・スポーツ施設の現状と課題について

～会議結果反映後の現状と課題は別添のとおり～

## 【主な意見】

(鈴木委員):中湧別屋外ゲートボール場の除草はされているが、利用されていないようである。違う用途はないか。

(坂本課長):公園として整備してはどうか。との意見もあるが、百年記念公園との兼ね合いもあり、整備は難しい状況である。

(石川委員):手軽にできるニュースポーツを仕掛けていくのはどうか。「モルック」というニュースポーツは子どもからお年寄りまで楽しめるスポーツである。町民が親しめるスポーツを仕掛けてみてはどうか。5年前と比べると子どもが少なくなってきた。小学校1年生の体力ではドッジボールを行うのが難しい。メニューを考える必要がある。よその町の大会にバスを出して行くのはどうか。例えば興部のマラソン大会や和寒のスキー場マラソン大会など町民で出かけましょう。というツアーはどうか。

(てん末書用紙)

(坂本課長):以前はプロスポーツ観戦ツアーというのがあった。

(石川委員):ボールパークツアーやハイキングで紅葉を見るツアーなどはどうか。

(海谷委員):若いお母さんが町内で気軽に登れる山はないか。との意見があった。冬であればスノーシューを履いて登るなど。山の中であると熊のことも考えなければならぬ。

(石川委員):コースを選定して作れば、冬場の健康づくりにもなるのでは。クロカンスキーコースは夜間が使用できない。百年記念広場に周回コースを作ってもらえれば、クロカンをやった後、温泉に入る方もいるのでは。仕掛けを作ってはどうか。

(峯田委員):ミニバレーリーグ戦は、ミニバレーが得意ではない人も参加しており、多くの町民が楽しんでいる。

(石川委員):ミニバレーリーグ戦は、底上げできているが、ミニバレーに対して苦手意識を持っている人もいるのではないか。ミニバレー以外のニュースポーツで仕掛けづくりを行ってはどうか。

(藤崎委員):チャレンジスポーツに参加した上湧別小学校の児童生徒がマラソン、フットベースボールが「楽しかった」という声があった。保護者からは送迎ができないため、送迎があればという声があった。行きたくても行けないという子どももいる。

(坂本課長):参加しやすいように場所や時間帯をずらすという方法もある。

※次回の社会教育中期計画策定にかかる会議については、11月に推進目標・推進項目について事務局で原案を作成し協議することとした。日程については、委員長と調整し後日案内することとした。

# 第3次湧別町社会教育中期計画 現状と課題（スポーツ）検討資料

備考	第3次社会教育中期計画（会議結果を反映）
<p>第2次社会教育中期計画</p> <h2>第9節 スポーツ活動とスポーツ施設整備の現状と課題・推進目標・推進項目</h2> <p>【スポーツ活動とスポーツ施設整備の現状と課題】 町民一人一人が心身ともに健康で充実した生活を営むためには、<u>町民の</u>だれもがそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、いつでもスポーツに親しむことができる、<u>生涯スポーツ</u>社会の実現を図ることが求められています。町民の健康や体力づくりに対する関心の高まりに伴い、多様なニーズに応じた各種スポーツ教室・講習会や大会の開催、合宿誘致、スポーツ施設の整備など、地域性を生かしたスポーツ活動の推進に努めてきました。</p> <p>体育協会とスポーツ少年団本部の<u>加盟団体</u>は、町内スポーツ振興の原動力として自主的に活動しており、活動の支援を図ってきましたが、<u>会員の高齢化や少子化</u>による会員の減少や指導者不足等の課題を抱えています。</p> <p>また、子どもたちの体力低下やスポーツ離れにより、<u>運動をしない子どもが増えている状況です。</u></p> <p>今後もより多くの子どもたちにスポーツに接する様々な機会を提供し、体を動かす習慣を身につけさせることが求められています。</p> <p>近年、青少年の体力低下や成人、高齢者の生活習慣病が増加しており、</p> <p>心身の健康保持増進のために<u>運動習慣が形成されるよう、平成20年度より湧別総合体育館に新しいトレニング機器を設置し、指定管理者事業として、インストラクターを試験的に配置したところ、</u>町民の利用が増えてきております。</p> <p>今後もより多くの町民に継続的に利用してもらおうための<u>ニーズの把握や事業内容の充実</u>が求められます。</p> <p>スポーツ合宿誘致事業では、<u>野球や柔道、合気道、陸上等</u>の競技団体が町内で合宿し、町民との交流やスポーツへの意識高揚が図られていますが、<u>特に合宿者が持つ高い技術をより多くの町</u></p>	<p>第3次社会教育中期計画（会議結果を反映）</p> <h2>第9節 スポーツ活動とスポーツ施設整備の現状と課題・推進目標・推進項目</h2> <p>【スポーツ活動とスポーツ施設整備の現状と課題】 町民一人一人が心身ともに健康で充実した生活を営むためには、<u>生涯にわたり</u>だれもがそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、いつでもスポーツに親しむことができる社会の実現が求められています。町民の健康や体力づくりに対する関心の高まりに伴い、多様なニーズに応じた各種スポーツ教室・講習会や大会の開催、合宿誘致、スポーツ施設の整備など、地域性を生かしたスポーツ活動の推進に努めてきました。</p> <p>体育協会やスポーツ少年団は、町内のスポーツ振興の原動力として自主的に活動されており、活動の支援を図ってきましたが、<u>少子高齢化</u>による会員の減少や指導者不足等の課題を抱えています。<u>今後も会員や指導者不足等を解消する方策の検討が求められます。</u></p> <p>また、少子化や教員の業務負担等を背景に学校の運動部活動では支えられなくなっている<u>中学生などのスポーツ環境</u>について、学校単位の活動から地域単位の活動に移行するための「<u>運動部活動地域移行</u>」が急ピッチで進んでいます。今後、体育協会やスポーツ少年団の役割が求められるとともに、<u>総合型地域スポーツクラブの設立や専門性や資質を有する広域的な指導者の派遣などの検討が求められます。</u></p> <p>町内の小学1年生から3年生を対象に実施している「<u>チャレンジスポーツスクール</u>」では、<u>スポーツ体験を通じて、スポーツを継続して親しむきっかけづくりや仲間づくりが図られています。</u></p> <p>今後もより多くの子どもたちに<u>運動やスポーツに接する機会を提供し、スポーツの楽しさや体を動かす習慣を身につけさせる</u>ことが求められます。</p> <p>近年、青少年の体力低下や成人、高齢者の生活習慣病が増加してきており、<u>運動・スポーツが身近で気軽に始められる環境整備やニュースポーツなどの機会提供と普及を図ることが求められます。</u></p> <p>心身の健康保持増進のために<u>運動やスポーツの習慣が形成されるよう、湧別総合体育館にトレニング機器を増設したことにより、町民の利用が増えてきております。</u> また、令和元年度より<u>運動指導職員による、健康運動教室やトレーニング室での指導を実施するほか、利用者個人に合わせたトレーニングメニューの提供を行うなど、町民の健康づくりの推進に努めてきました。</u></p> <p>今後も<u>運動やスポーツの習慣化につながる取り組みや健康寿命の延伸を促進するため、保健福祉分野と連携し、町民の体力に応じた運動プログラムの提供を図ることが求められます。</u></p> <p>スポーツ合宿誘致では、<u>柔道や合気道などの競技団体が町内で合宿を行い、町民との交流やスポーツへの意識高揚が図られていますが、合宿者が持つ高い技術をより多くの町民に提供し、交</u></p>

民に還元し、交流を深める機会を提供し、教育的効果を高めるとともに、地域の活性化を含めた事業展開を図ることが求められます。

各スポーツ施設においては、民間のノウハウを活用したサービスの向上や経費の削減を図るとを目的に指定管理者制度を導入しており、利用者の視点に立った施設の整備充実を図るためには、指定管理者と連携したサービスの向上への取り組みが求められます。平成29年3月より町全体の公共施設を対象に「湧別町公共施設等総合管理計画」が策定されました。今後はこの計画を踏まえたスポーツ施設の管理運営と計画的な整備に努めながら施設の有効活用、利用率向上に向けた取り組みの推進が求められます。

<今後の課題>

○ 町民がスポーツに親しむ機会提供と普及を図る必要があります。

○ 指導者の発掘・養成や資質向上を促し、指導体制の充実を図る必要があります。

○ 体育協会・スポーツ少年団などの関係団体の活動支援の充実に努める必要があります。

流を深める機会を教育効果を高めるとともに、受け入れ体制の整備に努め、スポーツの振興と地域の活性化を図ることが求められます。

スポーツ施設においては、指定管理者制度を導入し、民間の能力を活用したサービスの差や経費の削減に努めています。今後も町民のニーズを踏まえながら、いつでも安心して利用しやすい施設運営とサービス向上を図るとともに、スポーツや運動意欲を高めるために積極的な環境の整備を図ることが求められます。湧別町公共施設再配置実行計画に基づき、これまで計画的に整備を進めてきましたが、今後はこの計画を踏まえたスポーツ施設の管理運営と計画的な整備に努めながら施設の有効活用、利用率向上に向けた取り組みの推進が求められます。

<今後の課題>

○ 町民が運動やスポーツに親しむ機会を提供し、健康や体力づくりの増進と町民相互の交流を図る必要があります。

○ 体育協会・スポーツ少年団などの関係団体やスポーツサークルとの連携を深め、指導者の確保や担い手の育成と支援体制の充実に努める必要があります。

○ 運動部活動の地域移行に伴い受け皿となる体育協会やスポーツ少年団など関係団体の体制整備や総合型地域スポーツクラブの設立の検討、専門性や資質を有する広域的な指導者の確保に努める必要があります。

○ 運動・スポーツが身近で手軽にできるよう環境整備やコミュニティなどの機会提供を図る必要があります。

○ 保健福祉分野との連携を図り、運動やスポーツを取り入れた町民の健康づくりを促進する必要があります。

○ 町民の健康維持増進のため、運動指導職員による町民の体力に応じた指導体制の充実に努める必要があります。

○ スポーツ合宿の誘致を行うため、受け入れ体制の整備に努め、スポーツの振興と地域の活性化を図る必要があります。

○ 指定管理者の知見を活用し、サービスの向上と適正な管理運営に努めるとともに、「湧別町公共施設再配置実行計画」を踏まえたスポーツ施設の計画的な施設の改修等に努める必要があります。

# 令和4年度 第2回湧別町スポーツ推進委員会議案

と き 令和4年10月25日(火)  
午後6時30分  
ところ 文化センターさざ波 多目的ホール

## <会議日程>

1. 開 会
2. 委員長挨拶
3. 議 事  
議案第1号 令和4年度スポーツ振興事業報告について P 1～6  
議案第2号 第3次社会教育中期計画策定に係るスポーツ活動・スポーツ施設の現状と課題について P 7～8
4. そ の 他
5. 委員長挨拶・閉 会

湧別町教育委員会

## スポーツ推進委員名簿

役 職	氏 名	住 所	出欠
委員長	石 川 克 己	錦町	
副委員長	小 橋 百合香	中湧別南町	
	鈴 木 義 広	中湧別北町	
	黒 田 志津保	中湧別中町	
	白 田 ゆかり	栄町	
	木 村 栄	芭露	
	峯 田 ゆかり	上湧別屯田市街地	
	海 谷 政 貴	中湧別北町	
	岸 下 彩 乃	中湧別南町	
	岸 貴 元	中湧別中町	
	水 牧 一 郎	中湧別南町	
	藤 崎 俊 介	中湧別南町	

### (教育委員会)

役 職	氏 名
社会教育課長	坂本 雄仁
社会教育課主幹	藤本 祐司

令和4年度スポーツ振興事業報告（上半期実績）

領域	事業名	期日	計画内容	予算額	実績（状況）等
		場所		実績額 （事業終了分のみ）	
大会	①第37回サロマ湖100kmウルトラマソン【中止】	6/26(日)	100kmスタート午前5時00分（100kmの部） 総合体育館裏（東道路上） ※スマートフォンを活用した代替大会を検討	負担金3,000千円	密集回避の対応が極めて困難で、大会参加者はもとより、大会運営にご尽力いただく審判員、ボランティアスタッフ、開催地域の健康と安全を確保するため中止。  （代替大会名）サロマ湖100kmウルトラマソンオンラインチャレンジ （開催期間）6月26日（日）～7月23日（土） （種目） ①1day100km②1day50km③2weeks100km④2weeks50km⑤4weeks100km （結果） 参加者4,066名、完走者3,486名、完走率85.7%
		湧別総合体育館裏		900千円	
	開催	②湧別町少年柔道大会「上野カップ2022」	10/9(日)	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 2,986千円 参加料700千円 スポーツ振興くじ 2,286千円  歳出総額 3,593千円
湧別総合体育館			歳入総額 参加料等554千円  歳出総額 2,748千円		
等	③第47回町民300歳バレーボール大会	12/4(日)	自治会対抗形式9人制バレーボール大会	消耗品31千円 食糧費33千円	
		湧別総体・中湧総体		0円	
スポーツ教室	①町民ランニング教室	8/13(土)	基本姿勢から高度な技術、さらには運動前後のストレッチを習得することで、運動能力の向上や怪我の予防、運動を始めるきっかけづくりを図る。 ①ランニング教室 ②陸上教室 講師:作.AC北海道代表 作田徹氏 他作.AC北海道メンバー5名 対象:①中学生以上の部 ②小学生の部	講師謝礼 120千円	当日は、気温が高い状況で熱中症対策のため、参加者に対し、水分補給やマスクを外して良いことなどの周知を行った。 ①中学生以上の部 7名 ②小学生の部 35名
		文化センターTOM百年記念広場		講師謝礼 120千円	
講習	②ボルダリング体験教室	3月予定	ボルダリングの基礎を学び楽しみ方を味わわせるとともに、技法を習得させる。 講師:遠軽高校山岳部監督 畑野和宏氏 対象:小学生	講師謝礼 10千円	
		中湧別総合体育館		0円	
事業	③スラックライン体験教室	9/4(日)	スラックラインの基礎を学び楽しみ方を味わわせるとともに、技法を習得させる。 講師:北海道スラックライン代表 山森和也氏 他サポート副代表 山森千恵子氏、アマチュア全国1位山森さほ氏 対象:指導者、小学生～一般	講師謝礼 60千円	指導者に対して向けの教室を実施し、乗る、両足で降りる、片足でバランスを取るなどスラックラインの基礎を学んだ。小学生の部では、スラックラインの他にニュースポーツ「ディスフレクト」の体験も行った。 ①指導者の部 7名 ②小学生の部29名
		中湧別総合体育館		講師謝礼 60千円 スポーツ推進委員報酬13千円	



令和4年度スポーツ振興事業報告（上半期実績）

領域	事業名	期日	計画内容	予算額	実績（状況）等
		場所		実績額 (事業終了分のみ)	
スポーツ	④ジュニアスイミングスクール	第1回目 7/12(火)~15(金) 第2回目 8/23(火)~26(金)	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味わわせ、水泳の普及拡大を図る。 講師:野口美代子(トッカリ湧波会) 藤田千秋(トッカリ湧波会) 絹張洋史(教育委員会職員) 三浦茉畝(運動指導職員) 対象:小学生	講師謝礼 48千円	新型コロナウイルス感染症対策のため、プールと2階更衣室を貸し切りにし、更衣室では密にならないよう5名ずつ入室させた。 【第1回目】 7/12・13:2年生の部(14名)28名、3~6年生の部(14名)26名 7/14・15:1年生の部(16名)31名 【第2回目】 8/23・24:2年生の部(14名)24名、3~6年生の部(14名)16名 8/25・26:1年生の部(13名)18名
		湧別プール		講師謝礼 48千円	
1	⑤【新規】ニューススポーツdeあそび	1月~3月	町内の成人層を対象にスポーツを通じて健康や体力づくりを高めるきっかけづくりと新しいスポーツの普及や地域の活性化を図る。 指導者:運動指導職員 三浦茉畝 対象:18歳以上の町民(高校生を除く) 月2回(1月~3月予定)ニューススポーツ等を実施。	-	
教室	⑥少年少女初心者スケート教室	R5. 1月予定	初心者に対してスケートの楽しさを味わせるとともに、技法を習得させる。 講師:久保拓也(芭露) 藤本祐司(教育委員会職員) 三浦茉畝(運動指導職員) 対象:小学生	講師謝礼 12千円	
		芭露スケートリンク		0円	
講	⑦クロスカントリースキー教室	R5.2/4(土)	スキーの楽しさを味わせるとともに、初心者から上級者まで幅広い技法を習得させる。 講師:NPO法人北海道ライフスポーツ推進協会 理事長 島田 武彦 氏 対象:小学生~一般町民	講師謝礼 60千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	
		五鹿山スキー場		0円	
習	⑧健康運動教室	4月~3月	トレーニング器具等を使った個人(または集団や団体)指導を行うことにより町民に健康維持増進と体力の向上を図る。 担当:運動指導職員 三浦茉畝 対象:18歳以上の町民(高校生を除く)	-	準備運動としてラジオ体操、ウォーキングを行った後、様々な運動を実施した。 4/23(土)骨盤体操 12名 5/14(土),21(土)コアトレーニング 26名 6/ 4(土),18(土)リズム運動 27名 7/ 9(土),23(土)ウェーブストレッチ34名 8/ 6(土),20(土)レジスタンス運動 24名 9/24(土)ラジオ体操第一 5名 10/15(土)ストレッチポール 名
事業	⑨運動指導	4月~3月	①湧別総合体育館トレーニング室指導 水・金(9:00~11:00) 火・木(14:00~16:00) ※曜日・時間に変更する可能性有 ②個別運動相談・トレーニングメニュー作成 ③保健福祉分野との連携 担当:運動指導職員 三浦茉畝 対象:一般町民	-	湧別総合体育館トレーニング室に常駐し、筋力運動、有酸素運動の指導や運動相談・トレーニングメニューの作成などを実施。  4月:28名、5月:37名、6月:28名、7月:24名、8月:21名、9月:中止  【保健福祉分野との連携】 福祉課 大筋クラブでの指導
		湧別総合体育館他			

令和4年度スポーツ振興事業報告（上半期実績）

領域	事業名	期日	計画内容	予算額	実績（状況）等
		場所		実績額 （事業終了分のみ）	
スポーツ推進委員	①チャレンジスポーツスクール事業	5月～3月	低学年から様々なスポーツに触れることで、自分に合ったスポーツを見つけ出すきっかけづくりと、学校を越えた友達づくりの一助とする。 【事業内容】 5月 五鹿山マラソン・入学式（五鹿山ロッジ） 6月 フットベース（湧別総合体育館裏） 7月 キャンプ（湧別総合体育館裏） 8月 ランニング教室（百年記念広場） 9月 スラックライン（中湧別総合体育館） 10月 風船バレー・ミニバレー（湧別総合体育館） 11月 カローリング 他（湧別総合体育館） 12月 フロアボール（湧別総合体育館） 1月 スケート体験・氷上ホッケー（芭露スケートリンク） 2月 タグラグビー（湧別総合体育館） 3月 ミニ運動会・卒業式（湧別総合体育館） 指導者：スポーツ推進委員 対象：小学1年生～3年生	講師謝礼 パークゴルフ 5千円 フロアボール 10千円 タグラグビー 5千円  スポーツ推進委員報酬269千円          講師謝礼 0円  スポーツ推進委員報酬84千円	スポーツ推進委員が中心となり、様々なスポーツを実施した。感染対策を十分講じた上で、3年ぶりにキャンプを実施することができた。  5/ 9（土）五鹿山マラソン・入学式 42名 6/11（土）フットベース 26名 7/29（金）～30日（土）キャンプ 29名 8/13（土）ランニング教室 20名 9/ 4（土）スラックライン 23名 10/22（土）風船バレー・ミニバレー 名 11/12（土）カローリング 他 名 12/10（土）フロアボール 名 1/21（土）スケート体験・氷上ホッケー 名 2/18（土）タグラグビー教室 名 3/ 4（土）ミニ運動会・卒業式 名
		湧別総合体育館他			
		随時	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が出向き、軽スポーツやレクリエーションの指導を行う。	スポーツ推進委員報酬13千円  0円	
事業	③スポーツ推進委員研修	随時	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 オホーツク管内社会体育振興セミナー 北海道スポーツ推進委員研究協議会	スポーツ推進委員報酬122千円 費用弁償98千円  スポーツ推進委員報酬64千円	9/10（土）遠軽・紋別ブロックスポーツ推進委員等研修会 スポーツ推進委員4名 10/12（木）～13（金）釧路市北海道スポーツ推進委員研究協議会 スポーツ推進委員3名 10/29（土）オホーツク管内社会体育振興セミナー スポーツ推進委員4名
		管内道内			
団体活動の育成援助等	①少年スポーツ団体の育成援助	年間	少年団本部への補助	補助金600千円	
		—		0円	
	②一般スポーツ団体の育成援助	年間	体育協会への補助	補助金735千円	
		—		補助金735千円	
③大会出場助成	年間	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。 （湧別町スポーツ・文化遠征費補助金）	補助金2,000千円	10件	
	—		補助金804千円		
④合宿誘致助成	年間	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 （湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金）	補助金1,378千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり		
	各施設		0円		

令和4年度スポーツ振興事業報告（上半期実績）

領域	事業名	期日	計画内容	予算額	実績（状況）等
		場所		実績額 (事業終了分のみ)	
施設の整備活用	①施設の整備	年間	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	別紙社会教育施設整備計画のとおり
		各施設			
施設の活用	②施設の活用	年間	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 120千円	学校開放については、新型コロナウイルスの影響による児童・生徒の安全確保のため中止。
		各施設		0円	
その他	①スポーツ安全保険の加入促進	随時	広報及び事故手続き等の補助	—	
		—			

令和4年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	実績（状況）等	備考
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2022	5/8 (日)	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。	一般の部（男子28名・女子5名） 33名 高校生（男子）の部 9名 中学生の部（男子3名・女子1名） 4名 小学生（高学年）の部 14名 小学生（低学年）の部 50名 合計110名	教委、スポーツ推進委員も運営協力
実行委員会	チャレンジデー2022	5/25 (水)	町内	住民総参加型のスポーツイベントである「チャレンジデー」に参加し、町民の健康づくりや体カづくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。	湧別町 対 秋田県・八峰町 人口 8,314名 6,693名 参加者 5,150名 3,949名 参加率 61.9% 59.0%	
	駒澤大学合気道合宿	7月～8月	レイクパレス	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：30名予定	新型コロナウイルスの感染症の影響により中止	
	合気道正道友和会合宿	9月	レイクパレス	町内で合宿を行い、公開練習等を通して町民と交流を図るとともに合気道の普及を図る。 合宿予定人員：10名予定		
	北柔会関連道場柔道合宿	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：80名（指導者含む）予定		
	湧別原野林-ツカカトリス-大会	R5. 2/26 (日)	遠軽町 →湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km		

令和4年度社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	実績額	備考
湧別総合体育館	トレーニング機器リース機器購入 トレッドミル、アップライトバイク インパクトチェストプレス インパクトラットプルダウン インスティングトベクトラルフライ/リアデルト インスティングトレッグプレス/カーフ インスティングトレッグエクステンション/カーフ 各1台（合計7台）	リース4月 ～6月3ヶ月 分 325 購入987	987	令和4年6月 30日でリー ス期間満了 のため買取
湧別総合体育館	LED化改修工事	15,300	14,179	外灯6灯
湧別プール				場内42灯
中湧別総合体育館	高圧受電設備改修工事	800	748	
湧別総合体育館	手押し式芝刈機の購入	565	561	
湧別屋内ゲートボール場	非常用放送設備工事	1,940	1,760	
五鹿山スキー場	リフト緊張索更新及び誘導滑車整備工事	6,150	5,830	

## 第9節 スポーツ活動とスポーツ施設整備の

### 現状と課題・推進目標・推進項目

#### 【スポーツ活動とスポーツ施設整備の現状と課題】

町民一人一人が心身ともに健康で充実した生活を営むためには、**町民**のどれもがそれぞれ体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、いつまでもスポーツに親しむことができる、**生涯スポーツ**社会の実現を図ることが求められています。町民の健康や体力づくりに対する関心の高まりに伴い、多様なニーズに応じた各種スポーツ教室・講習会や大会の開催、合宿誘致、スポーツ施設の整備など、地域性を生かしたスポーツ活動の推進に努めてきました。

体育協会とスポーツ少年団本部の**加盟団体**は、町内スポーツ振興の原動力として自主的に活動しており、活動の支援を図ってきましたが、**会員の高齢化や少子化**による会員の減少や指導者不足等の課題を抱えています。

また、子どもたちの体力低下やスポーツ離れにより、運動をしない子どもたちが増えてきている状況です。

今後より多くの子どもたちにスポーツに接する様々な機会を提供し、体を動かす習慣を身につけさせることが求められています。

近年、青少年の体力低下や成人、高齢者の生活習慣病が増加しており、心身の健康保持増進のために運動習慣が形成されるよう、平成29年度より湧別総合体育館に新しいトレニング機器を設置し、指定管理者事業として、インストラクターを試験的に配置したところ、町民の利用が増えてきております。

今後より多くの町民に継続的に利用してもらうためのニーズの把握や事業内容の充実が求められます。

スポーツ合宿誘致事業では、野球や柔道、合気道、陸上等の競技団体が町内で合宿し、町民との交流やスポーツへの意識高揚が図られています。更に合宿者が持つ高い技術をより多くの町民に還元し、交流を深める機会を提供し、教育的効果を高めるとともに、地域の活性化を含めた事業展開を図ることが求められます。

各スポーツ施設においては、民間のノウハウを活用したサービスの向上や経費の削減を図ることを目的に指定管理者制度を導入しており、利用者の視点に立った施設の整備充実を図るためには、指定管理者と連携したサービスの向上への取り組みが求められます。平成29年3月より町全体の公共施設を対象に「湧別町公共施設等総合管理計画」が策定されました。今後はこの計画を踏まえたスポーツ施設管理運営と計画的な整備に努めながら施設の有効活用、利用率向上に向けた取り組みの推進が求められます。

## 第9節 スポーツ活動とスポーツ施設整備の

### 現状と課題・推進目標・推進項目

#### 【スポーツ活動とスポーツ施設整備の現状と課題】

町民一人一人が心身ともに健康で充実した生活を営むためには、**生涯**にわたりどれもがそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、いつまでもスポーツに親しむことができる社会の実現が求められています。町民の健康や体力づくりに対する関心の高まりに伴い、多様なニーズに応じた各種スポーツ教室・講習会や大会の開催、合宿誘致、スポーツ施設の整備など、地域性を生かしたスポーツ活動の推進に努めてきました。

体育協会やスポーツ少年団は、町内のスポーツ振興の原動力として自主的に活動されており、活動の支援を図ってきましたが、**少子高齢化**による会員の減少や指導者不足等の課題を抱えています。今後**も会員や指導者不足等を解消する方策の検討**が求められます。

また、**少子化や教員の業務負担等を背景に学校の運動部活動では支えきれなくなっている**中学生などのスポーツ環境について、学校単位の活動から地域単位の活動に移行するための「運動部活動地域移行」が急ピッチで進んでいます。今後、体育協会やスポーツ少年団の役割が求められるとともに、総合型地域スポーツクラブの設立や広域的な指導者の派遣などの検討が求められます。

町内の小学1年生から3年生を対象に実施している「チャレンジスポーツスクール」では、スポーツ体験を通じて、スポーツを継続して親しむきっかけづくりや仲間づくりが図られています。

今後より多くの子どもたちに運動やスポーツに接する機会を提供し、体を動かす習慣を身につけさせることが求められます。

近年、青少年の体力低下や成人、高齢者の生活習慣病が増加しており、心身の健康保持増進のために運動やスポーツの習慣が形成されるよう、湧別総合体育館にトレニング機器を増設したことで、町民の利用が増えています。また、令和元年度より運動指導職員による、健康運動教室やトレニング室での指導を実施するほか、利用者個人に合わせたトレニングメニューの提供を行うなど、町民の健康づくりの推進に努めてきました。

今後**も運動やスポーツの習慣化**につながる取り組みや健康寿命の延伸を促進するため、保健福祉分野と連携し、町民の体力に応じた運動プログラムの提供を図ることが求められます。

スポーツ合宿誘致では、柔道や合気道などの競技団体が町内で合宿を行い、町民との交流やスポーツへの意識高揚が図られています。更に合宿者が持つ高い技術をより多くの町民に提供し、交流を深める機会や教育効果を高めるとともに、受け入れ体制の整備に努め、スポーツの振興と地域の活性化を図ることが求められます。

スポーツ施設においては、指定管理者制度を導入し、民間の能力を活用したサービスの充実や経費の削減に努めています。今後は町民のニーズを踏まえながら、いつでも安心して利用しやすい施設運営とサービスの向上を図るとともに、スポーツや運動意欲を高めるために積極的な環境の整備を図ることが求められます。湧別町公共施設再配置実行計画に基づき、これまで計画的に整備を進めてきましたが、今後はこの計画を踏まえたスポーツ施設の管理運営と計画的な整備に努めながら施設の有効活用、利用率向上に向けた取り組みの推進が求められます。

<今後の課題>

- 町民がスポーツに親しむ機会提供と普及を図る必要があります。
- 指導者の発掘・養成や資質向上を図り、指導体制の充実に努める必要があります。
- 体育協会・スポーツ少年団などの関係団体の活動支援の充実に努める必要があります。
- スポーツインストラクター等を配置し、指導内容の充実や町民のニーズを踏まえたトレーニング機器等の整備を図る必要があります。
- スポーツ合宿の受け入れ体制の充実と合宿者が持つ高い技術を町民に還元する機会の提供を図る必要があります。
- 指定管理者の知見を活用しサービスの向上と適正な管理運営に努めるとともに「潮別町公共施設等総合管理計画」を踏まえたスポーツ施設の計画的な施設の改修等に努める必要があります。

<今後の課題>

- 町民が運動やスポーツに親しむ機会を提供し、健康や体力づくりの増進と町民相互の交流を図る必要があります。
- 体育協会・スポーツ少年団などの関係団体やスポーツサークルとの連携を深め、指導者の確保や担い手の育成と支援体制の充実に努める必要があります。
- 運動部活動の地域移行に伴う受け皿となる体育協会やスポーツ少年団など関係団体の体制整備や総合型地域スポーツクラブの設立の検討、専門性や資質を有する広域的な指導者の確保に努める必要があります。
- 保健福祉分野との連携を図り、運動やスポーツを取り入れた町民の健康づくりを促進する必要があります。
- 町民の健康維持増進のため、運動指導職員による町民の体力に応じた指導体制の充実に努める必要があります。
- スポーツ合宿の誘致を行うため、受け入れ体制の整備に努め、スポーツの振興と地域の活性化を図る必要があります。
- 指定管理者の知見を活用し、サービスの向上と適正な管理運営に努めるとともに、「潮別町公共施設再配置実行計画」を踏まえたスポーツ施設の計画的な施設の改修等に努める必要があります。